

ピア・サポート活動

延岡市立岡富中学校

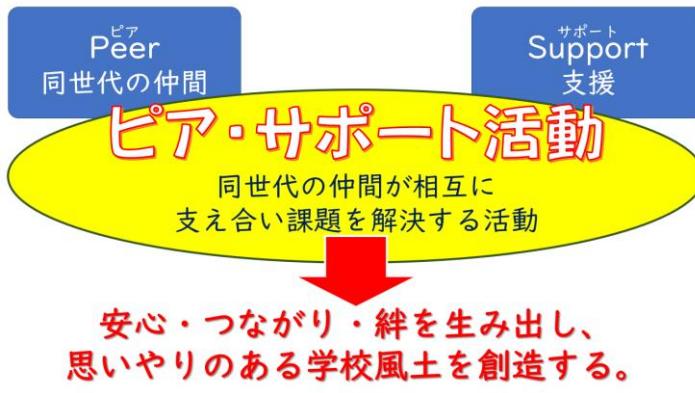
昨年度から、岡富中では「ピア・サポート活動」の学習課題を取り組んでいます。

ピア（Peer）は「仲間」という意味で使われます。同学年だけでなく、小学生にとっての中学生も「ピア」。職場の同僚も、岡富中の保護者同士も「ピア」にあたります。

サポート（Support）は「支援」の意味です。「ピア・サポート」による「援助」とは違い、仲間としてよりよくサポートする「仲間力」に基づいたものです。

このように、同世代の仲間が相互に支え合い、課題を解決する活動———言でいえば、仲間を思いやり、支援する活動が、ピア・サポート活動です。

多くの学校では、ピア・サポート活動の内容を具体的に学習した後、学校行事を通して実際に体験するといった方法がどうされています。



「ピア・サポート活動」って何?



**言葉だけじゃ
伝わらない？**



第2学年では、ピア・サポート活動の入門編「ガイダンス」を、10月に実施しました。

人が「コミュニケーション」をするときには、その話の内容だけ

でなく、表情やしぐさ、声のト

ーンや大きさなどからも情報を

得ています。人がコミュニケーションで重視する割合は、見た

目やしぐさなど（視覚情報）が

55%、声のトーンや口調など（聴覚情報）が38%、直接的な

話の内容など（言語情報）が7%

などといわれています。いかに、

93%の非言語「コミュニケーション」が大事かを物語っている

データですが、逆をいえば、視覚・

聴覚・言語がしつかりと一致すれば、メッセージがより強く相

手に伝わるようになるのです。

- 【第2学年「ガイダンス」授業後の感想（抜粋）】
- 相手の意見を聞く姿勢など、接し方が分かりました。
 - インタビューではいろんな人の面が見れたし、拍手された時、うれしかったです。ピア・サポートは普段からもできるのでしていきたいです。
 - 人と話す時にはしっかりと聞くようにしたいです。私も話している時に聞いてくれなかったら嫌なので聞くようにします。
 - 私がこのクラスのためにできることは何かなど考えたけど、そういう風に、私が「何ができるのか」を考えることが大事だと学びました。



【お知らせ】生徒は今週、「人権標語」に取り組みます。そこで、保護者の皆さんも一句いかがでしょうか？下記の返信欄で11/19までにお寄せください。生徒・保護者の作品はバザーで掲示する予定です。お楽しみに！



第2号

【ご家庭から】学級担任にお渡しください。

年 組／お名前

(ペンネームでもO.K.ですよ！)

◆書いていただいた内容をこの通信で紹介してもよろしいですか？(○ · ×)